

目次

序文……………	鹿島守之助	i
日本版のための序文……………	ウ・タント国連事務総長	iii
国連事務総長の報告……………		ix
国連事務総長あて送付書……………		xii
I 核兵器を使用した場合の影響……………		1
序説 1……………		
広島および長崎 4……………		
将来の戦争における核兵器のありうべき使用の意義……………		10
ある国の一地方に対する核攻撃の影響の評価……………		19
野戦における核兵器の使用から生ずる影響……………		23
抑止か戦争か……………		30

II 核兵器の取得と一層の開発の経済的意義…………… 33

各種の核弾頭生産計画のコスト 39

調達コストのまとめ 44

経済的意義 45

プルトニウム資源の予想される増大の意義 50

III 核兵器の取得および一層の開発の安全保障における意義… 53

序説 53

核兵器の歴史 53

現在の見通し 56

戦術的兵器の問題 61

政治的関連における核兵器 62

結論 66

付編 I 核爆発の一般的特性…………… 69

付編Ⅱ 核放射線の遺伝的影響…………… 87

付編Ⅲ 本編Ⅰの参考文献…………… 92

付編Ⅳ 核弾頭の基礎的コスト…………… 94

参考文献 139

付録 143

あとがき 153

本文の各小節の頭の数字は原文のまま。国連における討論、質疑等の際の引用の便宜のため、国連文書に屢々用いられる慣行である。